

令和2年度
瑞浪市教育委員会点検評価報告書
(令和元年度事業)



令和2年10月
瑞浪市教育委員会

目 次



1	点検評価の概要	・ ・ ・	1
2	教育委員会の活動状況	・ ・ ・	2
3	みずなみ教育プラン・後期計画について	・ ・ ・	5
4	施策ごとの重点取組状況	・ ・ ・	8
5	令和2年度(令和元年度事業)評価一覧	・ ・ ・	11
6	各課の事業評価		
	① 教育総務課	・ ・ ・	13
	② 学校教育課	・ ・ ・	18
	③ 学校給食センター	・ ・ ・	28
	④ 社会教育課	・ ・ ・	33
	⑤ スポーツ文化課	・ ・ ・	42
7	教育委員会点検評価委員会のまとめ	・ ・ ・	61
8	令和元年度教育費決算について	・ ・ ・	62
9	「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン(後期計画)」に対する総合評価について	・ ・ ・	63

1 点検評価の概要



【はじめに】

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨によるものです。

また、点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、点検・評価の客観性を確保することが求められております。

本市では、瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領により、平成 20 年度より瑞浪市教育委員会点検評価報告書を作成し報告しております。

【参 考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領（抜粋）

（評価事項）

第3条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組について、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。

（1）事務事業の執行状況、教育委員会の基本方針に掲げる主要施策の執行状況及びその成果

（2）前年度の点検評価結果への対応状況

2 前項の点検評価においては、次の表により達成度の総合評価を行う。

区 分	達 成 度
A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成見込みであるが課題がある
D	順調でない

2 教育委員会の活動状況



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成 27 年 4 月 1 日から施行され、新しい教育委員会制度がスタートしました。

瑞浪市においては、平成 28 年 10 月 1 日に新制度での教育長が就任したことにより、教育行政の責任体制が明確化し、新しい『教育委員会制度』へ完全移行いたしました。

令和元年度の教育委員会は、定例会を 12 回、臨時会を 2 回開催し、議案 37 件、承認案件 3 件について厳正な審議を行いました。定例会・臨時会後に開催される委員会協議会では、委員からの情報提供や、事務局からの事業の進捗や関連事項の報告について、活発な意見交換が行われました。

令和元年度の主な活動状況として、教育関係のイベントや式典、東濃西部教育委員研修協議会などに参加しました。また、研究発表校に指定された土岐小学校、瑞浪中学校をはじめとする学校の訪問を行い、学校教育の現状を確認しました。

教育功労者表彰(令和元年 11 月 22 日)については、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった教育関係職員 3 人、児童・生徒 6 人と 1 団体、一般 7 人の表彰を行いました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりです。

【教育委員会名簿】

令和2年 10 月 1 日現在

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
教育長	やまだ ゆきお 山田 幸男	令和 4 年 9 月 30 日	
委 員	かに けいた 可児 恵太	令和 4 年 9 月 30 日	教育長職務代理者
委 員	はしば まこと 羽柴 誠	令和 5 年 9 月 30 日	
委 員	しばた ようこ 柴田 洋子	令和 6 年 9 月 30 日	
委 員	かとう ひろゆき 加藤 博之	令和 3 年 9 月 30 日	

【令和元年度 教育委員会審議案件等一覧】

回	議案番号	件 名	開催日
5	議第31号	瑞浪市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	4月24日
	議第32号	瑞浪市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	
	議第33号	瑞浪市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第34号	瑞浪市クラブバス運行管理規程の廃止について	
	議第35号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	
	議第36号	平成31年度学校評議員・幼稚園評議員の委嘱について	
	議第37号	平成31年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について	
	議第38号	平成31年度教科用図書東濃採択地区協議会委員の選出及び研究員の推薦について	
	議第39号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	議第40号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	議第41号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	議第42号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
6	議案なし		5月21日
7	報第1号	瑞浪市立学校閉校記念事業交付金交付規則を廃止する規則について	6月20日
	議第43号	令和元年度幼稚園評議員の委嘱について	
8	議第44号	令和元年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書(平成30年度事業)について	7月25日
	議第45号	令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について	
9	議第46号	令和元年度瑞浪市教育費にかかる9月補正予算について	8月22日
10	議第47号	令和元年度瑞浪市教育功労者の選定について	9月26日
	議第48号	「学校における情報セキュリティポリシー(ガイドライン)」について	
	議第49号	瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について	
11	議案なし		10月1日

回	議案番号	件 名	開催日
12	承第1号	専決処分の承認について(令和元年度専第1号瑞浪市社会教育委員の委嘱について)	10月24日
	承第2号	専決処分の承認について(令和元年度専第2号瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について)	
13	議第50号	令和元年度瑞浪市教育費にかかる12月補正予算について	11月21日
14	議第51号	瑞浪市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する教育委員委員会規則の制定について	12月19日
	議第52号	瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第53号	瑞浪市教育委員会点検評価実施要領の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	
	議第54号	令和元年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	
1	議案なし		1月23日
2	議第1号	令和2年度瑞浪市教育の方針と重点について	2月20日
	議第2号	瑞浪市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第3号	令和元年度瑞浪市教育費にかかる3月補正予算について	
	議第4号	令和2年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	議第5号	工事請負契約の締結について	
3	議第6号	人事異動の概要及び異動について	3月6日
4	承第1号	専決処分の承認について(令和元年度専第3号 瑞浪市立学校休業時の公共施設の一部開放実施要綱の制定について)	3月19日
	議第7号	瑞浪市腎臓検診判定委員会規則の制定について	
	議第8号	瑞浪市就学援助費支給要綱の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	
	議第9号	瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	
	議第10号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	議第11号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	議第12号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	議第13号	瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について	

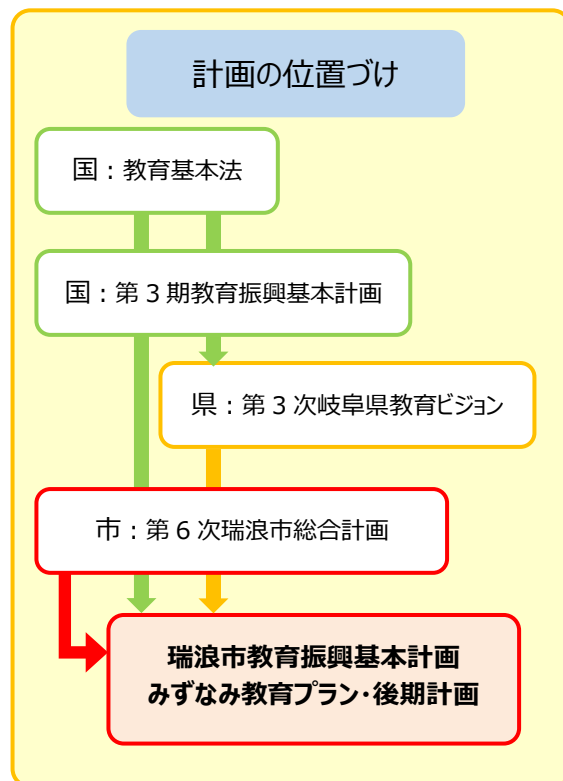
※提案された案件については、全て可決又は承認されました。

3 みずなみ教育プラン・後期計画について

みずなみ教育プラン・後期計画の概要

瑞浪市では、教育基本法に基づき、教育振興に関する基本的な計画として、平成 26 年度（2014 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 10 年間を計画期間とする「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン」を策定しています。この計画は、基本理念と 5 つの基本目標、またそれらを実現するための具体的な施策で構成されており、市の最上位計画である「第 6 次瑞浪市総合計画」（平成 26 年（2014 年）3 月策定）の教育分野の個別計画としての側面を持ちます。

計画期間の中間年となる平成 30 年度（2018 年度）には、具体的な施策の見直しを行い、令和元年度（2019 年度）からの 5 年間を計画期間とする「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画」を策定しました。今後は、この後期計画に基づき、本市の目指す教育の実現に向けて取り組みを進めます。



計画の基本理念は、『**夢・生きがい・誇りを育む 瑞浪の教育**』です。

基本理念の趣旨

次世代を担う子どもが **夢** に向かってたくましく生き、市民は **生きがい** をもって心豊かに暮らすことを通じて、市民誰もが郷土・瑞浪に **誇り** を感じることができる教育を平成 26 年度（2014 年度）から令和 5 年度（2023 年度）の 10 年間で推進します。

瑞浪の教育は…



困難に負けず、自ら問題解決を図りながら、**夢** に向かって果敢に挑戦する子を育みます。

家庭や地域を大切にしながら、**生きがい** をもって、いきいきと暮らす市民を育みます。

子どもから高齢者まで市民全員が、教育の様々な過程において、地域への愛着や **誇り** を育む教育を推進します。

計画で重視する 基本的視点

幼稚園・学校、
家庭、地域の連携

すべての市民が
主体

教育を取り巻く
変化に柔軟に対応

基本理念を達成するための5つの基本目標

基本目標1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進

・子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力を育てるために、幼児期における教育の充実を図るとともに、知・徳・体の調和のとれた学校教育を推進します。幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携強化や中学校統合の円滑かつ効果的な推進を図ります。

基本目標2 とともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進

・ライフステージに対応した学びの場や子どもたちの成長のための環境の充実を図ります。高齢者やシニア世代などを活用した活力ある地域づくりを進めます。また、生涯学習に関わる指導者の育成やボランティア活動の充実を図ります。

基本目標3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

・市民誰もが、気軽に、生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツの機会の充実を図ります。多くの市民にスポーツの魅力を発信するとともに、地域スポーツを推進します。また、スポーツ少年団やクラブなど児童生徒を対象としたスポーツ環境の充実を図ります。

基本目標4 郷土愛を育む文化・芸術の振興

・地域一体となって、文化財の保存と活用を推進します。文化財の保存の活動に関わる人材の育成などを推進します。また、市民が身近に歴史・文化・芸術に触れられる機会を充実させるとともに、文化施設の充実を図ります。

基本目標5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化

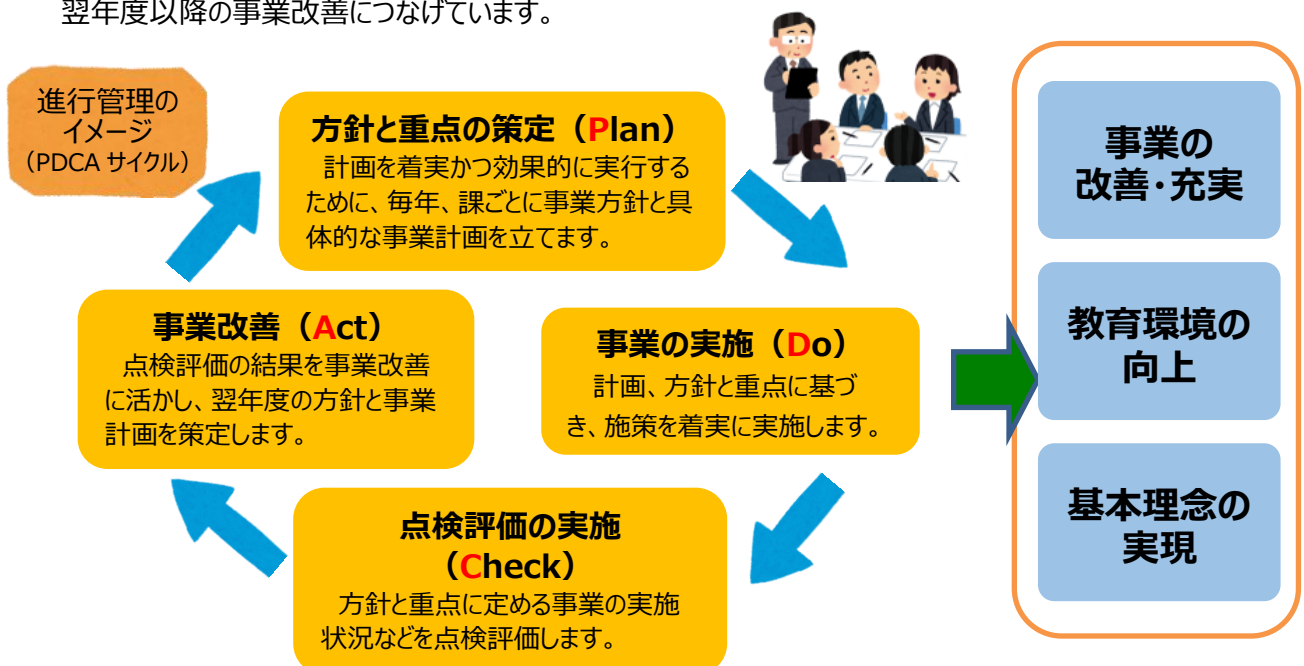
・幼稚園・学校、家庭、地域がそれぞれに連携を強化していくことによって、家庭の教育力、地域の教育力の向上を図ります。



計画の進行管理

計画に掲げる基本理念や目標を着実に実現するために、教育委員会ではその年に重点的に取り組む事業などを「方針と重点」として策定し、計画的かつ効果的な事業実施に努めています。

また、翌年度には、事業の実施状況や効果などを外部有識者の知見も取り入れながら、点検評価し、翌年度以降の事業改善につなげています。





具体的な施策

「基本理念」と基本理念を実現するための5つの「基本目標」、またそれぞれの基本目標を達成するために必要な具体的な「施策」からなります。

【基本理念】

夢・生きがい・誇りを育む
瑞浪の教育



【基本目標】

1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進

【施策】

- 施策1 幼保一体化による就学前教育の充実
- 施策2 確かな学力の育成
- 施策3 特別支援教育の充実
- 施策4 豊かな心の育成
- 施策5 健やかな体づくりと食育の推進
- 施策6 幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携の強化
- 施策7 幼稚園・学校の職員の資質向上
- 施策8 学校環境等の整備・充実
- 施策9 中学校の統合



2 とともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進

- 施策1 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
- 施策2 地域での子育てに係る学習環境の整備
- 施策3 高齢者の活躍の場づくり
- 施策4 公民館・図書館等による人材発掘と育成



3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

- 施策1 スポーツの場の充実
- 施策2 スポーツの機会の充実と魅力の発信
- 施策3 スポーツ推進委員の活用
- 施策4 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携



4 郷土愛を育む文化・芸術の振興

- 施策1 まちぐるみで守る文化財とその活用
- 施策2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
- 施策3 文化施設の充実
- 施策4 後継者育成、文化芸術活動団体の支援



5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化

- 施策1 連携による家庭の教育力の向上
- 施策2 連携による地域の教育力の向上



4 施策ごとの重点取組状況

重点取組事業…★ 取組事業…○

基本目標 1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			取組年度(令和)				
			元	2	3	4	5
主 な 取 組	施策 1	①幼保一体化における就学前教育の指導推進	○				
		②家庭の教育支援	○				
	施策 2	①できる・わかる授業の充実	○				
		②外国語活動の充実	★				
		③学校教育等における読書活動の推進	○				
		④体験を通じた指導の充実	○				
		⑤きめ細やかな指導の推進	○				
		⑥家庭の教育支援	○				
	施策 3	①支援体制の整備及び充実	★				
		②一人一人の実態に応じた指導の充実	○				
		③幼小中の途切れのない支援の推進	○				
	施策 4	①豊かな心を育てる道徳教育の充実	○				
		②いじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に向けた支援	○				
		③不登校児童生徒の学校復帰の支援	★				
	施策 5	①学校における体力づくりの充実	○				
		②安全な給食及び衛生管理の徹底	★				
		③学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供	★				
		④学校・家庭の「食育」支援	★				
	施策 6	①幼小中の連携支援	○				
		②家庭への意識啓発	○				
	施策 7	①幼稚園・学校の職員への指導・支援	★				
		②資質向上のための研修	★				
		③メンタルヘルス対策	★				
		④研究の充実	★				
	施策 8	①老朽化した学校施設の更新	★				
		②教育環境の整備・向上	★				
		③情報通信機器の整備による情報教育の推進	★				
		④学校における防災・防犯の推進	○				
	施策 9	①統合後の小中学校間の連携支援	○				
		②通学路の確保と遠距離通学の生徒への支援	○				
		③統合後に使用する校舎等の整備	★				
		④新中学校における地域の拠点機能の確保	○				

基本目標 2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進			取組年度(令和)				
			元	2	3	4	5
主 な 取 組	施策 1	①公民館の生涯学習の充実	★				
		②各公民館間の情報共有	○				
		③市民の学習機会に関する情報提供	○				
		④図書館サービスの充実	○				
	施策 2	①保護者の学習内容の充実	○				
	施策 3	①高齢者学級の活発な活動の促進	○				
		②地域の高齢者と子どもの交流の促進	○				
	施策 4	①指導者の育成	○				
		②図書館ボランティアの育成	○				

基本目標 3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進			取組年度(令和)				
			元	2	3	4	5
主 な 取 組	施策 1	①スポーツ施設・設備の充実	○				
		②日常的スポーツ実践のための学校施設の開放	○				
		③スポーツ施設に関する情報提供	○				
	施策 2	①トップアスリートとの交流	★				
		②スポーツ教室・交流会の充実	★				
		③スポーツをする機会の情報提供	○				
		④選手育成と各種体育大会への派遣を支援	★				
		⑤身近な場所でスポーツに親しめる環境の整備	○				
	施策 3	①スポーツ推進委員との連携強化	○				
		②スポーツ推進委員の育成	○				
	施策 4	①スポーツを行う機会の確保	○				
		②スポーツ指導者の人員確保	○				

基本目標 4 郷土愛を育む文化・芸術の振興			取組年度(令和)				
			元	2	3	4	5
主 な 取 組	施策 1	①文化財の調査・保存・活用	★				
		②未指定文化財の指定	○				
		③地域資源を生かした学習機会の提供	○				
		④市民向け講座の充実	○				
主 な 取 組	施策 2	①市民の文化芸術活動の活性化	★				
		②歴史案内ボランティア等の育成	○				
		③学校との連携	○				
		④博物館等文化施設における生涯学習の振興	★				
主 な 取 組	施策 3	⑤芸術に触れる機会の充実	★				
		①館蔵資料の充実、調査、研究	★				
		②市民公園文化施設再整備	○				
		③総合文化センターの施設整備	○				
主 な 取 組	施策 4	①伝統文化の後継者育成	★				
		②文化芸術活動団体の活動支援	○				

基本目標 5 子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化			取組年度(令和)				
			元	2	3	4	5
主 な 取 組	施策 1	①家庭教育の指針の作成と活用の促進	○				
		②子育て・教育相談の充実	○				
		③交流・学習機会の充実	○				
		④幼小中の保護者の交流の創出	○				
主 な 取 組	施策 2	①子どもの学習・発表機会の提供	★				
		②地域での体験・交流機会の提供	○				
		③子どもをまちぐるみで見守る体制づくり	○				
		④青少年育成市民会議の推進	★				
主 な 取 組	施策 2	⑤地域との連携によるキャリア教育	★				
		⑥幼児園・学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくり	○				

5 令和2年度(令和元年度事業)評価一覧

教育委員会では、毎年、それぞれの部署が取組の基本方針である「方針と重点」を策定(Plan 計画)し、それに基づき事業を実施(Do 実行)します。そして、翌年度に事業の実施状況を点検評価(Check 評価→Action 改善)することで、教育行政の充実に努めています。

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
1	教育総務課		1	旧日吉中学校転用改修事業	A	14
2			2	小・中学校施設大規模改修事業	A	15
3			3	小・中学校施設空調整備事業	A	16
4			4	瑞浪北中学校施設整備事業	A	17
5	学校教育課		1	ALT活動関係事業(ALT派遣事業、ALT臨時活動事業)	A	19
6			2	児童生徒学業支援員派遣事業	B	20
7			3	教育支援センター運営経費	A	21
8			4	教育研修経費	B	22
9			5	幼稚園・小学校・中学校課題指定園・校経費	A	23
10			6	キャリア教育推進事業	A	24
11			7	教育研究所運営経費	A	25
12			8	「働き方改革」推進事業	B	26
13			9	ICT教育推進事業	B	27
14	学校給食センター		1	学校給食調理等委託事業	A	29
15			2	学校給食配送委託事業	A	30
16			3	学校給食施設等調査事業	A	31
17			4	ふれあい給食事業	A	32
18	社会教育課		1	中央公民館講座等開催経費	A	34
19			2	中央公民館文化祭開催経費	A	35
20			3	美術展開催事業	A	36
21			4	中央公民館自主事業	A	37
22			5	中央公民館市民参加型事業	A	38
23			6	瑞浪市主張大会開催事業	A	39
24			7	青少年育成推進事業	A	40
25			8	成人式開催経費	A	41

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
26	スポーツ文化課		1	トップアスリート交流事業	A	43
27			2	スポーツ教室等開催経費	B	44
28			3	各種体育大会開催経費(激励金交付事業)	A	45
29			4	文化財調査保存事業	A	46
30			5	埋蔵文化財発掘等調査事業	A	47
31			6	(化石博物館)定期講座開催経費	A	48
32			7	化石博物館定期展示会開催事業	A	50
33			8	(市之瀬廣太記念美術館)定期展示会開催事業	A	51
34			9	(市之瀬廣太記念美術館)彫刻講座等開催経費	B	52
35			10	(陶磁資料館)作陶講座開催経費	A	53
36			11	(陶磁資料館)定期展示会開催事業	A	54
37			12	定期研究報告発行事業	A	55
38			13	化石資料調査収集事業	A	56
39		○	14	(市之瀬廣太記念美術館)展示作品等購入整理事業	A	57
40			15	(陶磁資料館)定期刊行物発行経費	A	58
41			16	(陶磁資料館)展示資料等購入整理事業	A	59
42			17	文化財維持管理事業	A	60
	新規事業合計	1				

評価区分		評価結果
A	順調に達成している	36
B	おおむね順調に達成している	6
C	達成の見込みであるが課題がある	0
D	順調でない	0
計		42

6 各課の事業評価

◇教育総務課



【旧日吉中学校転用改修事業】
廊下の流しの高さ変更

【旧日吉中学校転用改修事業】
黒板の高さ変更



【小・中学校施設空調整備事業】



整理No. 1	事業目標と評価			担当課	教育総務課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	8	学校環境等の整備・充実			
主 な 取 組	①	老朽化した学校施設の更新			
事 業 名	旧日吉中学校転用改修事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 H30 年度～ R 元年度 平成 31 年 4 月からの瑞浪北中学校開校に合わせ、空きとなる現・日吉中学校(平成 17 年建築)に小学校機能を移転するために必要な事業を実施します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 旧中学校側の工事を行うとともに小学校側は夏休みを中心に行うなど授業の妨げにならないように進め、引き続き学校職員と連携しながら、令和元年度内に移転を完了します。					
【令和元年度事業の実績】 令和元年 6 月～令和 2 年 1 月完了 転用改修工事(施工業者:板垣建設(株))					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○ 旧中学校校舎側へ大半の機能が移設完了し、併せて普通教室への空調設備整備も完了しました。 ▲ 旧小学校校舎の今後の方向性について考える必要があります。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	B
	84,030,000 円	84,028,014 円	100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *グラウンドのあり方についても再考して頂きたい。(維持管理上、広すぎるのでは) →校舎と含め、今後の方向性について考えていきます。	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 2	事業目標と評価			担当課	教育総務課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施策	8	学校環境等の整備・充実			
主な取組	①	老朽化した学校施設の更新			
事業名	小・中学校施設大規模改修事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H22年度～ 継続 地域の中核的な施設である小学校7校、中学校2校(瑞浪中学校、瑞浪南中学校)については、老朽化対策や教育環境の充実に改修が必要な学校から順次、大規模改修設計、工事等を実施します。令和元年度は、釜戸小学校の改修設計を実施します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 ※過去の実績 H22～23 土岐小 (耐震補強・大規模改修工事) H24～25 明世小 (大規模改修工事) H29 陶小 (転用改修工事)					
【令和元年度事業の実績】 令和元年6月～12月完了 釜戸小学校改修工事設計業務(委託業者:株)パトス建築設計室)					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○ 釜戸小学校の改修工事へ向けた実施設計業務が完了しました。今後は、改修工事のための予算要求を行い令和3年度の工事完了を目指します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	4,400,000 円	4,400,000 円	100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *各校トイレの洋式化については早急に対応して頂きたい。 →各校、順次対応します。	点検評価委員会評価	A
---	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 3	事業目標と評価		担当課	教育総務課	
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	8	学校環境等の整備・充実			
主 な 取 組	②	教育環境の整備・向上			
事 業 名	小・中学校施設空調整備事業				
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H30 年度～ R 元年度 小学校7校、中学校2校(瑞浪中学校、瑞浪南中学校)について、普通教室全室に空調設備を整備します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 緊急の対応を要する事業として可能な限り早い時期にかつ一斉に整備します。					
【令和元年度事業の実績】 平成31年4月～令和元年9月工事完了 瑞浪小(施工業者：岐阜電設(株)) 平成31年3月～令和元年9月工事完了 瑞浪中・稲津小(施工業者：五十嵐工業(株)) 平成31年4月～令和元年9月工事完了 土岐小・明世小・釜戸小 (施工業者：(株)小栗電気工事) 平成31年4月～令和元年9月工事完了 陶小・瑞浪南中(施工業者：(有)伊藤電通) ※日吉小については、旧日吉中学校転用改修事業に合わせて対応しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○ 対象校全校(8校)を9月に工事完了し、計画通り全校一斉に空調設備の供用を開始しました。 ▲					
決算の状況	予算額		決算額		執行率
	333,000,000 円		274,697,666 円		82.5 %
					担当課 評価
					A

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
------------------------------------	-----------	---

教育委員会評価	A
---------	---

整理No. 4	事業目標と評価			担当課	教育総務課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	9	中学校の統合			
主 な 取 組	③	統合後に使用する校舎等の整備			
事 業 名	瑞浪北中学校施設整備事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H25 年度～ R2 年度 令和2年度施工予定のグラウンド整備・校舎解体工事のために必要な旧瑞陵中学校の倉庫棟解体工事ほかを行います。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 関係部署との綿密な打ち合わせを行い、瑞浪北中学校の学校運営等に支障が無いよう計画通り行うことに努めます。					
【令和元年度事業の実績】 令和元年 6 月～9 月完了 倉庫棟解体工事(施工業者:株)橋本組) 令和 2 年 3 月～ 工事中 旧瑞陵中学校校舎等解体・グラウンド管理棟建設工事 (施工業者:中島工務店)					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○ グラウンド内にありました倉庫棟の解体が 9 月に完了し、旧校舎等の解体及びグラウンド管理棟建設工事に着手しました。次年度(令和 2 年度)には、残りのグラウンド整備工事を実施し施設整備事業が完了する予定です。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	16,808,000 円	16,465,864 円	98.0 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 * 今後、校舎解体後の跡地利用は決まっていますか。 →現在は決まっておりません。 * 避難所にもなりますし、現在のままの駐車場では狭いので、中学校の駐車場として使用できるようになるといいと思っています。	点検評価委員会評価	A
---	-----------	---

教育委員会評価

A

◇学校教育課



【ICT教育推進事業】



【ICT教育推進事業】

整理No. 1	事業目標と評価		担当課	学校教育課		
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進				
施策	2	確かな学力の育成				
主な取組	②	外国語活動の充実				
事業名	ALT活動関係事業（ALT派遣事業、ALT臨時活動事業）					
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H元年度～ 継続						
外国人英語指導助手(JET プログラム 1 名・業者委託 2 名)が小中を訪問し、英語教育、外国語活動、英語活動、国際理解教育を進めます。						
小学校における外国語活動の教科化に向けて、担任の授業力を高めます。						
【前年度の評価を踏まえた取組】						
英語指導の研修会を実施し、指導力の向上を図ります。						
【令和元年度事業の実績】						
小中学校への計画的な訪問指導を実施しました。各小学校 5・6 年生には、年間 50 時間の英語授業の内、平均 36 時間訪問し、日本人教師とのチームティーチングを行うことができました。						
各中学校には年間 140 時間中、平均 46 時間(学校規模により訪問日数を決定)訪問できました。延べ訪問日数は 153 日(臨時休業のため 3 月は勤務実績なし)。						
「Let's try1,2」「We Can1,2」を活用し、ALT による良質のインプットを与えるなど、授業の充実を図ることができました。						
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題						
○小学校では、児童が外国語に慣れ親しむとともに、学んだ英語を実際のコミュニケーション場面で活用するなど、言語活動を充実させることにつながりました。チームティーチングを行う際には、日本人教師(担任等)が中心となり授業を進めるなど、ALT との効果的な授業づくりにつながりました。						
○小学校では、7 校中 6 校で積極的に ALT と日本人教師が対話を通したモデルを示したり、ALT による児童へのフィードバックをしたりするなど、ALT の活用が効果的になりました。1 校については、英語主任会を通して、ALT の活用方法について研修できるようにしました。						
○中学校では、生徒が自己の考え・思いを交流する機会が増えました。また、一層相手意識をもってコミュニケーションを図る態度が養われてきています。ネイティブスピーカーによる言い換え、平易な表現の紹介を通して、タイムリーなインプットがなされ、言語習得に有効に働いています。						
○市内中学校第 3 学年に在籍する生徒の内、32%が英語能力に関する外部試験を受験しており、その内の 60%がCEFRA1(英語検定 3 級程度)レベル相当以上を取得しているなど、生徒の英語力の向上につながっています。						
▲新しく教科書が採択され、教材研修を進めるとともに、効果的に指導ができるよう、一層教職員の指導力を高める必要があります。						
▲小中学校ともに、時間割等の工夫により、ALT の授業への参加回数を増やし、言語活動を通した英語力の向上を図っていく必要があります。						
決算の状況	予算額		決算額	執行率	担当課 評価	A
	15,601,000 円		14,158,959 円	90.8 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*児童の英語の発話状況から判断すると、ALT 活用の成果が見られる。 *中学校の ALT も 1 名の増員ができるとよい。 →今後小中学校の接続も踏まえ、中学校 ALT の増員を検討します。		

教育委員会評価

A

整理No. 2	事業目標と評価		担当課	学校教育課			
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進					
施策	3	特別支援教育の充実					
主な取組	①	支援体制の整備及び充実					
事業名	児童生徒学業支援員派遣事業						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H14 年度～ 継続							
小中学校において、学級担任や教科担任の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒（発達障がいや学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒等）へ個別支援を行う人員を配置します。							
学校図書館の整備及び児童生徒への読書指導等の支援を行う人員を配置します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
各学校に在籍する児童生徒の実態、学校のニーズに応じて学業支援員の配置をします。							
【令和元年度事業の実績】							
小学校 7 校へ 21 名、中学校 3 校へ 7 名、図書支援員として 2 名、合計 30 名を派遣しました。							
各校において、一人一人の特性や実態に応じて、授業の学習支援や学校生活全般の生活支援を行いました。							
図書支援員は、購入した新刊図書の配架や掲示物の作成、委員会活動のサポートを行い、児童生徒が利用しやすい図書室環境整備に努めました。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○各学校に在籍する児童生徒の実態、学校のニーズに応じて学業支援員を配置し、27 名派遣しました。各校においては、時間割等を工夫し、個々の特性に合わせて支援を受けられるようにしました。							
○学業支援員の派遣により、児童生徒の特性や困り感に寄り添い、適切な支援が可能となり、安定した心身の状態、生活につなげることができました。							
○図書支援員の派遣により、児童生徒が利用しやすい配架の工夫など図書館整備が充実したり、教科等の学習で効果的に活用できる学校図書館の情報センター機能の拡充が図られたりするなどの成果がありました。							
○東濃地区学校図書館教育賞において、釜戸小学校が総合優秀賞、瑞浪小学校が優秀賞、瑞浪南中学校が努力賞を受賞しました。図書館の充実に、図書支援員の働きが効果的でした。							
▲多様な特性の児童生徒が、各校において増加する現状であるため、支援員増員は急務の課題です。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	B
	32, 019, 000 円		29, 587, 050 円		92.4 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	B
*適切な運用を行ってほしい。 *支援対象児童は増加しており、必要な事業である。 *瑞浪北中学校の統合のときから増員を強く要望している。 →学校から提出される活用計画をもとにヒアリングを実施し、適切な配置を行います。		

教育委員会評価

B

整理No. 3	事業目標と評価		担当課	学校教育課			
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進					
施策	4	豊かな心の育成					
主な取組	③	不登校児童生徒の学校復帰の支援					
事業名	教育支援センター運営経費						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H24 年度～ 継続							
不登校児童生徒の学校復帰を目指して、指導員 2 名(嘱託職員)により適応指導を行います。教育支援センター室長による学校訪問や保護者面談をしながら、教育支援センターへの通級を勧める活動を行います。また、実態に応じて、スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカー、瑞浪市巡回臨床心理士と連携した支援も進めていきます。							
通級する児童生徒に対しては、「援助シート」を作成し、指導員が実態に応じて学習や生活の個別指導を行い、対人関係を学んだり、学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
学校と連携してケース会議を充実させ、一人一人の実態に即して学校復帰を目指します。							
【令和元年度事業の実績】							
不登校生徒に対し、学校・他の教育機関、関係機関等と連携して、該当児童生徒や保護者へ働きかけ、19 名の小中学生が通級できるようになりました。その内 11 名が学校復帰することができました。							
室長が学校訪問をしてケース会議に参加し、情報を学校と共有して対応することで、通級への意欲を見せたり、見学したりした児童生徒が 13 名いました。							
教育支援センターこぶし教室では、学校と共に「援助シート」を作成し、支援目標、支援方法等明確にし、計画的・継続的に支援を進め、自立していくための資質能力を高めました。							
令和元年度教育相談活動については、電話や来室・訪問での相談を 520 件行いました。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○学校と適応指導教室が連携を密にし、情報交流・共有を大切にすることで、不登校傾向の児童生徒を体験入級につなげることができました。また、通級中に心の安定が図られ、登校につながる児童生徒もありました。							
○学校復帰を目指し、「援助シート」を作成して、その子に応じた計画的・継続的な指導ができました。							
▲体調不良の継続、連続した欠席等、心配される様相が見られた際に、早期に教育支援センターと連携をとり、長期化させないように初期対応に十分配慮する必要があります。							
▲カウンセリングや適切な見立てができる臨床心理士の定期的な派遣を行い、より個に応じた適切な支援を行っていく必要があります。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	B
	7, 450, 000 円		7, 149, 674 円		96.0 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*支援により学校復帰できた子、教育相談により児童生徒の心の安定を図ることができた子が多くいることから、成果は大きい。A 評価にしてよいのではないか。 →成果をだすために、早期に支援センターと連携するように学校に指導していきます。		

教育委員会評価

A

整理No. 4	事業目標と評価		担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		
施策	7	幼稚園・学校の職員の資質向上		
主な取組	②	資質向上のための研修		
事業名	教育研修経費			
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 一年度～ 継続 教職員の資質向上のための研修会を実施します。 小中学校の授業研究会や研修会に外部専門講師を招聘します。				
【前年度の評価を踏まえた取組】 ニーズに応じて、特別支援教育・外国語指導等に係る研修を充実させ、教職員の資質向上を図ります。				
【令和元年度事業の実績】 夏季研修会については、3日間延べ313名が受講しました。 開設した講座は、英語教育、特別支援教育、幼児教育、作陶教室、瑞浪市歴史探訪、実践論文等、合計12講座を実施しました。 各学校の授業研究会や研修会に教育事務所主事以外の外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めました。各小中学校合計すると年間で延べ60名の講師を招聘しました。				
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○今日の課題である特別支援教育、小学校における英語教育等に係る研修の実施により、教職員の資質向上が図られています。 ○ニーズの高い特別支援教育については2つの講座を開設したことで、普段の指導においてもついていた疑問や悩みを解決することができ、多様な特性の児童生徒への指導に役立つ学びができました。 ○他市から赴任してきた教職員に対して、作陶体験や瑞浪市の歴史に触れる内容の研修を開設したことで、瑞浪市のよさを知り、学校での指導に役立てることができました。 ▲現在教職員に必要感が高いタブレット型端末の有効活用、特別支援教育について引き続き研修を充実させ、学校での指導に活かせる研修を実施していく必要があります。 ▲経験年数の浅い教職員を対象とした研修を充実させ、指導力の向上を図る必要があります。				
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価
	337,000 円	262,659 円	78.0 %	
B				

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	B
---	-----------	---

教育委員会評価

B

整理No. 5	事業目標と評価			担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	7	幼稚園・学校の職員の資質向上			
主 な 取 組	②	資質向上のための研修			
事 業 名	幼稚園・小学校・中学校課題指定園・校経費				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> (幼 H24)(小中 S39)年度～ 継続 《幼稚園》 2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援します。指定園は課題を策定・研究し、2年目に研究発表会を実施します。1年目は予算措置はありません。 《小学校・中学校》 3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。指定校は課題を策定・研究し、3年目に研究発表会を実施します。1、2年目は予算措置はありません。 【前年度の評価を踏まえた取組】 園や学校の課題を踏まえた研究を推進します。 【令和元年度事業の実績】 《事前指導》 教育長訪問や校内研究授業等で、研究推進や教職員の指導力向上について指導・助言を行いました。 《発表会》 10月25日 土岐小学校…4学級公開授業、市内外教職員等参加者約140名 10月18日 瑞浪中学校…18学級公開授業、市内外教職員等参加者約120名 【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○教育長訪問等の際に、研究主題や研究内容に沿って指導・助言をすることで、研究推進並びに教職員の指導力向上につなげることができました。 ○土岐小学校の発表会では、児童の「やってみたい」という意欲を喚起し、「わかる」、「できる」実感へ結ぶ指導を児童の姿で示すことができました。 ○瑞浪中学校の発表会では、学習内容のつながりを意識した実践を全教科・全学級で授業公開することができました。 ▲学習指導要領の改訂並びに全面実施を踏まえ、評価等も含め市内の各園・学校の取組に活かせる研究発表会を実施していく必要があります。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	643, 000 円	619, 463 円	96.4 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*働き方改革の中で、研究発表会は、教職員の多忙化につながっているのではないかと。→研究内容の焦点化や作成物の縮減をし、研修を充実させつつスリム化を図ります。		

教育委員会評価

A

整理No. 6	事業目標と評価		担当課	学校教育課	
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施策	7	幼稚園・学校の教職員の資質向上			
主な取組	①	幼稚園・学校の職員への指導・支援			
事業名	キャリア教育推進事業				
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H18 年度～ 継続 市内中学校 2 年生の職場体験学習の充実に向けて支援します。（推進懇談会の実施・賠償保険料の支払い） 生徒が将来のことや生活の仕方を深く考えることができるように、事前及び事後の指導が充実するよう支援します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 教科学習等、他の指導内容と関連させながら指導を進めます。					
【令和元年度事業の実績】 市内中学校 3 校の 2 年生 293 名が、延べ 146 事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進懇談会を年 2 回(7 月、12 月)実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させ、助言を得るとともに、実施に際しての協力を得ることができました。 事前や事後の指導において、関係団体の方からの話を聞く機会をもち、より深く将来のことや生き方について考えることができました。					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○市内中学校 2 年生全員が事故なく職場体験を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ○学校の取組に協力していただける事業所が多く、1 事業所に複数の生徒が体験する際も、仕事に責任をもたせていただくことができ、生徒の主体的な体験につながりました。 ▲キャリア教育推進懇談会については、地域ぐるみで瑞浪の子供を育てるという視点から共通理解する場として重要であることを踏まえ、継続して開催していく必要があります。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	150, 000 円	141, 040 円	94.1 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
特になし		

教育委員会評価

A

整理No. 7	事業目標と評価		担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		
施策	7	幼稚園・学校の教職員の資質向上		
主な取組	④	研究の充実		
事業名	教育研究所運営経費			
【令和元年度事業の概要】<u>重点目標等</u> 事業期間 H24 年度～ 継続 各学校の代表である嘱託所員とともに、算数・数学の授業研究を行います。成果を「教育みずなみ」に掲載するとともに、成果報告会をもつことで市内教職員に広めます。 各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し、「教育実践論文集」に収録する等、教員の研究活動を奨励・援助し、教育レベルの向上を図ります。 教育研究所機関誌「教育みずなみ」(隔月刊)を発行します。				
【前年度の評価を踏まえた取組】 「教育実践論文集」や「教育みずなみ」を配付して、具体的な実践等を紹介することで、教職員の資質向上を図ります。				
【令和元年度事業の実績】 教育実践論文を募集、審査、表彰し、入賞作品を「教育実践論文集」に収録しました。49 人の応募がありました。 これまでの授業分析を通した研修から、嘱託所員とともに、算数・数学の授業における有効な手立てや指導の方途について公開授業を通して広めたり、「教育みずなみ」に掲載したりして広める取組に大きく変えました。研修の成果について「授業ハンドブック」にまとめ市内の教職員に配付しました。年度末のアンケートでは、算数・数学に係る提案に対して、83%が関心があったと回答しており、教職員が学び合う貴重な取組となりました。				
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○実践論文の応募が、合計 49 点ありました。応募率は25%でした。実践論文の作成により、教職員の資質向上に大いにつながっています。 ○優秀論文を「教育実践論文集」に掲載し、市内教員に配付しました。即効性のある指導の手立てや指導の考え方などを具体的な実践を基に広めることにつながりました。 ○「教育みずなみ」の各コーナーにおいて、幼小中の特色ある取組、学力向上に係る取組等について、具体的な実践を紹介することができました。 ▲市内の教職員のニーズ、今日的な教育課題等に即して、教職員の資質向上に資する内容を適宜組み込みながら研究所活動を進める必要があります。				
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価
	596, 000 円	482, 596 円	81.0 %	A

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
特になし		

教育委員会評価

A

整理No. 8	事業目標と評価		担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		
施策	7	幼稚園・学校の職員の資質向上		
主な取組	③	メンタルヘルス対策		
事業名	「働き方改革」推進事業			
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H30 年度～ 継続 教職員の時間外勤務を正確に把握します。 教職員が月 80 時間、年 720 時間を超える時間外勤務をしないようにします。 教職員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めます。				
【前年度の評価を踏まえた取組】 各校の校長、教頭とも連携して、管理職のリーダーシップの下、働き方改革を推進します。				
【令和元年度事業の実績】 教職員の勤務時間把握用の PC に勤務時間を確実に入力するように働きかけた結果、正確な 出退勤時刻を把握することができました。 月 70 時間を超える時間外勤務の教職員がほぼいなくなりました。 学校閉庁日や早期退校日を設定することで、時間外勤務を減らすことができました。 4～12 月までのひと月あたり時間外勤務 H29 年度…52 時間 33 分 H30 年度…47 時間 7 分 R 元年度…36 時間 20 分				
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○勤務時間を入力することによって、時間内に仕事をやりきる等の意識が高まり、教職員の意識改 革につながっています。 ○計画的に仕事を進めたり、仕事内容によって軽重をつけたりするなど、これまでの働き方からの 転換が見られるようになりました。 ▲学期末等、月によって時間外勤務が多い傾向は変わりません。また、校務分掌等の偏りにより、 特定の教職員の時間外勤務が多くなる傾向も見られます。業務内容の一層の精選と、業務の 共同実施等も実施しながら、時間外勤務の削減に取り組む必要があります。				
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価
	0 円	0 円	—— %	B

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *市独自で働き方改革として取り組んでいるものはないか。 *教師の持ち帰り残業などの把握も必要である。 →今後も、正確な実態把握と検証を積み重ね、改革を進めていきます。	点検評価委員会評価	B
--	-----------	---

教育委員会評価

B

整理No. 9	事業目標と評価		担当課	学校教育課			
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進					
施 策	8	学校環境等の整備・充実					
主 な 取 組	③	情報通信機器の整備による情報教育の推進					
事 業 名	ICT 教育推進事業						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H30 年度～ 継続							
瑞浪小と全中学校にタブレット型 PC を導入します。							
ICT 機器を活用するための教員研修を行います。							
ICT 機器を活用した授業改善を行います。							
ICT 支援員を配置します。							
デジタル教科書(小学校 4 教科、中学校 5 教科)を導入します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
環境の整備と並行して、ICT 機器の活用について研修を進めます。							
【令和元年度事業の実績】							
ICT 機器の導入と並行して、令和元年度は ICT 支援員を 1 人配置し、定期的に各校に派遣しました。ICT 機器の活用について助言したり、援助したりすることで、授業における ICT 機器の活用が大幅に増えました。							
校内研修として ICT 支援員による研修・講習会を実施し、効果的な ICT 機器の活用について学ぶことができました。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○ICT 支援員を年間 300 時間、各校 10 日程度派遣し、各校の実情に合わせて助言・サポートを実施し、各校の活用実践につなげることができました。							
○小中学校とともに授業においてデジタル教科書を日常的に活用するようになりました。また、ICT 機器を用いて写真や資料を見やすく提示するなど、児童生徒の学習意欲を喚起したり、交流する際に ICT 機器を活用したりするなど、授業改善につながりました。							
▲ICT 支援員の派遣に際して、より一層授業での活用に焦点をあてた活用を推し進めていく必要があります。							
▲情報主任等が実践事例を交流するなど、ICT 機器の活用事例を広めていく取組が必要です。							
▲国の推し進める「GIGA スクール構想」の下で、効果的に ICT 教育が実施できるよう、ICT に係る専門職員の雇用や ICT 支援員の増員について要望していく必要があります。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	B
	72, 713, 000 円		71,650,814 円		98.6 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	B
特になし		

教育委員会評価

B

◇学校給食センター



【学校給食調理等委託事業】



【ふれあい給食事業】

整理No. 1	事業目標と評価			担当課	学校給食センター
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	5	健やかな体づくりと食育の推進			
主 な 取 組	②	安全な給食及び衛生管理の徹底			
事 業 名	学校給食調理等委託事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H27 年度～ <u>継続</u> 小・中学校 10 校の学校給食約 3,000 食の調理・食器洗浄業務等を民間業者に委託し、安全・安心で美味しい給食を提供します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 特になし。					
【令和元年度事業の実績】 契 約 先：ハーベストネクスト株式会社 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩間町二丁目120番地 契 約 期 間：平成30年4月1日から令和3年3月31日まで 給食実施数：小学校7校、中学校3校 1学期 66 日、2 学期 82 日、3 学期 35 日 計 183 日 498,751食の給食を提供しました。 新型コロナウイルス感染症の流行により、3 月(17 日間)は給食が中止となりました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○平成 30 年度から受託業者が変更となりましたが、安全・安心で美味しい給食を時間までに提供できました。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	63,220,000 円	63,220,000 円	100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *今後も、安全・安心の給食をお願いします。	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 2	事業目標と評価			担当課	学校給食センター
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	5	健やかな体づくりと食育の推進			
主 な 取 組	③	学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供			
事 業 名	学校給食配送委託事業				
【令和元年度事業の概要】<u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H17 年度～ <u>継続</u> 学校給食を市内の小・中学校に限られた時間内に確実・安全に配送するため、配送事業を専門業者に委託します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 特になし。					
【令和元年度事業の実績】 契 約 先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 土岐市下石町西山 304 番地の 912 契 約 期 間：平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで 配送施設数：小学校 7 校、中学校 3 校 1 学期 66 日、2 学期 82 日、3 学期 35 日 計 183 日 新型コロナウイルス感染症の流行により、3 月（17 日間）は給食が中止となりました。					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○市内の小・中学校への給食の配送を確実に実施することができました。 ▲配送中に食器が割れることが 2 回ありました。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	20,928,000 円	20,928,000 円	100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 * 事故等に気を付け、確実に配送してください。	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 3	事業目標と評価			担当課	学校給食センター
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進			
施 策	5	健やかな体づくりと食育の推進			
主 な 取 組	③	学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供			
事 業 名	学校給食施設等調査事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H30 年度～ <u>継続</u> 学校給食センターが現在の場所に改築されてから18年が経過し、建物や施設設備等が老朽化してきました。施設設備全体の改修を効率的に行うため、現状を調査し、施設設備の中長期改修計画を策定します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 基本計画の策定に当たり、頻繁に修繕をする機器を把握し、センターとしての要望を計画に反映させるようにします。					
【令和元年度事業の実績】 契 約 先：株式会社日建設計 名古屋オフィス 愛知県名古屋市中区栄四丁目15番32号 契約期間：令和元年7月23日から令和2年2月28日まで 学校給食センター改修に伴う現状調査及び基本計画策定を行いました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ▲施設の長寿命化を図るため、中長期的な視野に立って改修を行う必要があります。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	4,730,000 円	4,730,000 円	100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 * 基本計画を基に、確実に改修を行ってください。	点検評価委員会評価	A
---	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 4	事業目標と評価		担当課	学校給食センター
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		
施策	5	健やかな体づくりと食育の推進		
主 な 取 組	③	学校給食の安全供給と安心で美味しい給食の提供		
	④	学校・家庭の「食育」支援		
事 業 名	ふれあい給食事業			

【令和元年度事業の概要】 重点目標等 事業期間 H24 年度～ 継続

食育の一環として、地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、地元野菜の生産者等が給食時間に市内の小学校を訪問し、話をしながら一緒に給食時間を過ごします。

当日は地元産の野菜や畜産物を献立に取り入れ、地産地消を推奨します。

生産者が子供たちに野菜作りの苦労話などを行うことで、地元産の野菜等に興味を抱き好き嫌いなく食するようにします。

【前年度の評価を踏まえた取組】

インフルエンザの流行期を避け、冬野菜の収穫期である12月の月上旬に実施します。

【令和元年度事業の実績】

12月13日に地元生産者が日吉小学校を訪問し、給食時間に各クラス2名～3名の農家の方と児童が交流しました。

当日の献立：瑞浪米ごはん、瑞浪ポーノポークの生姜焼き、五目大豆、日吉みそ汁、りんご、牛乳

当日使用した瑞浪産食材：米、瑞浪ポーノポーク、日吉みそ

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

○開催時期をずらしたことで、当日は欠席者もなく、多くの瑞浪産の食材を提供できました。子どもたちが生産者から野菜作りの苦労話や豚の育て方を聞くことで、食に対する感謝の気持ちを育むことができました。

▲今後も「JA とうと」との連携を深め、生産者を確保し、多くの農家に参加していただけるよう働きかけます。

決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	0 円	0 円	— %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応

点検評価委員会評価

A

*とても良い事業なので、今後も続けてください。

*年2校ほど実施したらどうか。

→他の学校行事、生産者等の状況を鑑み、再考します。

教育委員会評価

A

◇社会教育課

【成人式開催経費】



【中央公民館文化祭 開催経費】



【中央公民館市民参加型事業】

整理No. 1	事業目標と評価		担当課	社会教育課
教育プラン基本目標	2	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進		
施 策	1	多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実		
主 な 取 組	①	公民館の生涯学習の充実		
事 業 名	中央公民館講座等開催経費			
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S29 年度～ <u>継続</u> 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催します。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催します。				
【前年度の評価を踏まえた取組】 学習効果を高めるため講座後に発表や展示する場を増やします。				
【令和元年度事業の実績】 短期講座・教室（6 講座：受講生数 80 人）、長期講座（3 講座：受講生数 29 人） 登録自主グループ 22 団体、延べ会員数 224 人 高齢者学級 中部寿大学（学生数 118 人） 婦人学級 ひまわり婦人学級（学生数 22 人）、常盤婦人学級（学生数 22 人） 家庭教育学級 明日の親学級（2 回：受講生数 15 人）、三園母親学級（学生数 24 人）				
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○気軽に参加しやすい短期講座を企画し、幅広い世代が多様な学習を行うことのできる機会を提供しました。 ○長期講座を企画し、講座終了後も自主グループ化により学習が継続されるよう促しました。 ○楽器演奏の講座において、文化祭で発表する機会を設けました。 ▲講座終了後も学習が継続されていくような講座の開催や働きかけが必要です。				
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価
	414,000 円	336,408 円	81.3 %	A

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *参加者の募集を市内全域にアピールしていくと良い。 →市広報において、募集を行い、メールマガジンや市ホームページでも広く募集しており、今後も引き続き募集していきます。	点検評価委員会評価	A
---	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No.2		事業目標と評価			担当課	社会教育課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興	5	子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化		
施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実	2	連携による地域の教育力の向上		
主な取組	①	市民の文化芸術活動の活性化	①	子どもの学習・発表機会の提供		
事業名	中央公民館文化祭開催経費					

【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 S29 年度～ 継続

公民館講座等の参加者や登録自主グループの生涯学習成果を発表する機会を提供し、また、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、11月の土曜日、日曜日の2日間、中央公民館文化祭を開催します。

【前年度の評価を踏まえた取組】

瑞浪・土岐・明世地区のまちづくり推進協議会によるパネル展示、瑞浪市消防団音楽分団等によるオープニング演奏、地区内の学校による発表により地域や学校との連携を深めます。

【令和元年度事業の実績】

27団体による芸能発表、17団体による作品展示のほか、市民図書館による「読み聞かせ」、市子ども会連合会による「子ども広場」、有志団体による食品バザーを行いました。特に食品バザーは「青空マルシェ」と名前を新たにし、バザー数も増え、賑やかに開催できました。また、瑞浪・土岐・明世地区の幼児園及び保育園の園児の作品や小中学校の児童生徒の作品、まちづくり推進協議会の紹介パネルを展示しました。瑞浪中学校吹奏楽部によるオープニング演奏、瑞浪高校及び中京高校による発表もありました。令和元年度は、文化祭の運営を参加者により行い、参加意識を高めました。

全体参加者数 987 人（前年度 705 人）、入場者数 2,749 人（前年度 2,238 人）

【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題

○幼児から高齢者まで幅広い世代の方に参加していただくことで、世代間の文化交流を図ることができました。

○地域や学校との連携を深めることができました。

▲芸能発表の観客が増加するような企画を検討していきます。

決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	133,000 円	97,033 円	73.0 %		

【点検評価委員からの意見と対応】＊…意見 →…対応

点検評価委員会評価

A

＊高校生の参加は良いことだと思う。

→今後も域学連携を進めていきます。

教育委員会評価

A

整理No. 3	事業目標と評価		担当課	社会教育課	
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実			
主な取組	⑤	芸術に触れる機会の充実			
事業名	美術展開催事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S29 年度～ <u>継続</u> 第 66 回瑞浪市美術展(一般の部)を公募展として開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 少年の部の入選者を一般の部でも展示することを検討します。					
【令和元年度事業の実績】 少年の部の展示について検討しましたが、開催時期の関係で従来通りの開催となりました。 部門を日本画、洋画、書、デザイン・イラストレーション、陶芸、手工芸（彫塑含）、写真の 7 部門とし、第 66 回瑞浪市美術展（一般の部）を、令和元年 10 月 24 日（木）～10 月 27 日（日）の 4 日間で開催しました。出品数 209 点（うち賛助・無鑑査等 37 点）、入賞 53 点、展示作品数 201 点。入場者数 886 人。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○賛助、無鑑査等の出品により、市民が優れた芸術に触れる機会の提供となりました。 ○高校生の出品数が、昨年 9 点から 20 点に増えました。 ▲出品数は前年度と比較し 13 点(6%)の減となり、減少率(前年度 9%)は、下がったものの、どの部門も創作活動者の絶対的人口が減少している中で、いかに市内在住者に出品してもらうかが課題です。出品数の増加に繋がるよう、広報します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	1,675,000 円	1,427,346 円	85.3 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 4	事業目標と評価		担当課	社会教育課	
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実			
主 な 取 組	⑤	芸術に触れる機会の充実			
事 業 名	中央公民館自主事業				
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 S59 年度～ 継続 文化ホールでは、音楽や文化公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供します。 また、プロ、アマを問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介していく事業として、ホワイエふれあいコンサートを随時開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 市民ニーズにあった公演の開催に努めます。					
【令和元年度事業の実績】 ○公演事業(2 公演) 8 月 31 日 研ナオコ&野口五郎ジョイントコンサート (768 人)[収容可能数 771 人] 2 月 8 日 夏井いつき句会ライブ (625 人)[収容可能数 786 人] ○ホワイエふれあいコンサート(2 公演) 4 月 28 日 さわやかコンサート(コーラスジュピター・釜戸女声コーラス) 194 人 6 月 23 日 朗読の昼下がり(朗読教室 7 団体) 97 人					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○自主事業は、2 公演とも好評で、市民のニーズにあった公演を開催できました。 ○ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、温かな雰囲気のコサートとなり毎回好評を得ることができました。 ▲新型コロナウイルス感染症の影響で 3 月のホワイエふれあいコンサートが中止となりましたが、今後も起こりうる不測の事態への対応を検討しておく必要があります。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	10,026,000 円	9,907,790 円	98.9 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
特になし		

教育委員会評価

A

整理No. 5		事業目標と評価		担当課	社会教育課		
教育プラン基本目標		4	郷土愛を育む文化・芸術の振興				
施 策		2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実				
主 な 取 組		⑤	芸術に触れる機会の充実				
事 業 名		中央公民館市民参加型事業					
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H18 年度～R 元年度 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催します。 10 年以上実施してきたこれまでのノウハウと参加者や関係者とのつながり等を生かしながら、市制 60 周年で公演した「櫻堂ものがたり」を再上演します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】 市制 65 周年を記念し盛大に開催、スタートから 20 回をむかえ、令和元年度に最終公演を実施します。							
【令和元年度事業の実績】 1 月 26 日(日)に『櫻堂ものがたり 2020』を開催。(753 人)〔収容可能数 778 人〕 参加者は、公募ソリスト、キャスト、合唱団、交響楽団合わせて 130 人、演出家・指導者などです。 今後は自主事業の中で必要に応じて対応していきます。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○参加した合唱、演劇、演奏、演出、運営スタッフ等の方々が力を集結させ作り上げた舞台となり、完成度や市民の満足度は非常に高いものとなりました。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	A
	5,000,000 円		4,996,030 円		100 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
特になし		

教育委員会評価

A

整理No. 6	事業目標と評価		担当課	社会教育課	
教育プラン基本目標	5	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化			
施 策	2	連携による地域の教育力の向上			
主 な 取 組	①	子どもの学習・発表機会の提供			
事 業 名	瑞浪市主張大会開催事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S54年度～ <u>継続</u> 青少年の健全育成と、大人による「子ども・若者理解」の促進を目的として実施します。市内の各小・中・高等学校の代表(各校1名)、及び一般応募者が発表しました。中学生については、少年の主張岐阜県大会の瑞浪市予選会を兼ねています。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 より多くの市民の方に来場を促すことが歴年の課題となっており、青少年育成推進員を介し、青少年育成市民会議及び町民会議の構成員に対し来場を呼びかけます。 また、市内の小、中、高校に大会の告知ポスターの設置、全児童・生徒へのチラシ配布のほか、ホームページでの開催告知、市の広報に折り込みチラシを挿入します。新たに中京学院大学にもポスター等の設置を依頼し、発表者の募集を実施します。					
【令和元年度事業の実績】 広く周知に努めた結果、一般の部の参加者として2名(20歳前後の大学生及び社会人)の参加がありました。また、大会の運営には青少年育成推進員のほか、4名の高校生ボランティアが司会や採点表の運搬などを行い、大会の基幹を担っていました。後日、発表内容を収録した記念冊子及び当日の様子を収録したDVDを作成し、参加者等に配布しました。 来場者 479名					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○積極的な募集の結果、一般の部に2名の青年が参加しました。 ▲引き続き、より多くの市民の興味をひき、来場を促す工夫が必要です。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	B
	158,000 円	117,870 円	74.6 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*タイトル「瑞浪市主張大会」から内容がわかりやすいものに変更してはどうか。 →他市では「青少年の主張」などとなっているので、検討します。		

教育委員会評価

A

整理No. 7	事業目標と評価		担当課	社会教育課	
教育プラン基本目標	5	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化			
施策	2	連携による地域の教育力の向上			
主な取組	④	青少年育成市民会議の推進			
事業名	青少年育成推進事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S43年度～ <u>継続</u> 青少年の健全育成に資する活動の推進を目的とし、当該活動を行う団体及び個人等に対する活動の援助並びに交付金の交付等を実施します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 前年度の組織再編や事業の見直しの効果を検証しながら活動を支援します。					
【令和元年度事業の実績】 瑞浪市青少年育成市民会議は、「瑞浪市主張大会」を市と共催したほか、世代間交流会「高校生と語る会」、瑞浪駅周辺等の清掃活動「無ガム中大作戦」、夏祭りや各公民館文化祭での啓発活動、東濃西部少年センターと連携した夜間巡回指導、モデル団体に指定した土岐地区町民会議の活動支援等を行いました。瑞浪市子ども会連合会は、安全に活動するための野外研修会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症流行の世情を受け、やむなく中止しました。JC青年の船「とうかい号」乗船者は、船上研修で社会貢献の精神を学びました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○市民会議の活動では、参加した地域住民と青少年の相互理解が深まり、連携が強化されました。また、本年は「青少年健全育成県民会議」が瑞浪市で開催され、市内外から600名近い参加者が集まりました。瑞浪市青少年育成市民会議の活動発表や、大会史上初となる高校生による司会の実現など、主体的に大会を盛り上げました。 ○JC青年の船「とうかい号」の乗船者が、一般参加者として「瑞浪市主張大会」で研修成果を市民に発表しました。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	2,220,000 円	2,000,931 円	90.2 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*活動がやや形骸化している。活発な活動となるとよいと思うがどうか。 →活動の意義を一人一人が意識して、意欲的に活動できるようにします。		

教育委員会評価

A

整理No. 8	事業目標と評価		担当課	社会教育課			
教育プラン基本目標	5	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化					
施 策	2	連携による地域の教育力の向上					
主 な 取 組	⑤	地域との連携によるキャリア教育					
事 業 名	成人式開催経費						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 S 29 年度～ 継続							
瑞浪市の成人式は、長年引き継がれてきた「成人の火の伝達」等の伝統を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とし、新成人実行委員を中心に地域の方々の協力による手づくりの成人式を開催します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
近年の社会人や学生の多忙化を考慮し、実行委員会の開催回数減や会議時間の短縮等を試みます。その上で、伝統ある瑞浪市成人式の趣旨の実現に努めます。							
【令和元年度事業の実績】							
成人式実行委員会には、22 名の正式メンバーと 3 名のサポートメンバー（市外在住者等）が参集しました。実行委員は、互いの自主性や創意を尊重しながらアイデアを出し合い、「観客一体型」の式典を自ら考案し、実現しました。こうして迎えた成人式は、参列した多くの新成人に、共感や笑顔、感動を呼びました。							
半年の長きにおよび共に活動した実行委員の間には深い絆が生まれ、式典後の集いでは、「楽しかった」「やってよかった」といった声が聞こえてきました。							
成人対象者 404 名、内出席者 314 名 出席率 77.7%							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○瑞浪市の伝統に則り、新成人による手づくりの成人式を生み出すことができました。							
▲成人式実行委員の成り手を確保することが困難になりつつあることから、その魅力を発信し、積極的な募集をする必要があります。							
▲限られた予算・人的資源の中で、伝統ある成人式を継続していくために、見直しや改善を行っていく必要があります。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	A
	1,900,000 円		1,845,651 円		97.2 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
* 厳粛で思い出深い式にしてもらいたい。 →式典実施に向けて周到な準備をするとともに、関係諸機関とも連携して万全の体制をとります。		

教育委員会評価

A

◇スポーツ文化課



【文化財調査保存事業】



【トップアスリート交流事業】

整理No. 1	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	3	誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進			
施 策	2	スポーツの機会の充実と魅力の発信			
主 な 取 組	①	トップアスリートとの交流			
事 業 名	トップアスリート交流事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H20 年度～ 継続 子供たちとトップアスリートとの交流を図るため、スポーツ教室・講演等の交流事業を年 1 回開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 今後も引き続き進めてほしいとのご意見をいただきましたが、令和 2 年度をもって区切りとし、今後は市制記念等節目の年に実施することとなりました。実施の際にはより良いものとなるよう事業を進めます。					
【令和元年度事業の実績】 北京オリンピック陸上男子 4X100mリレー銀メダリストの塚原直貴氏を迎えて講演と実技教室を開催しました。(12 月 8 日、参加者 講演 150 名、実技教室(中学生対象) 66 名)					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○指導事項の内容から中学生に限定して、実技教室を実施しましたが、普段体験できない指導法に、大変興味を持って取り組んでいました。また、銀メダリストと 100m競争を行い、その速さを身をもって体験し、大変驚いたものと思います。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	300,000 円	239,860 円	80.0 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 *この事業は非常に良いものなので、毎年実施してほしい。 →検討します。	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 2	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課			
教育プラン基本目標	3	誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施 策	2	スポーツの機会の充実と魅力の発信					
主 な 取 組	②	スポーツ教室・交流会の充実					
事 業 名	スポーツ教室等開催経費						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H19 年度～ 継続							
健康長寿につながる生涯スポーツとして市民が気軽に参加できる各種スポーツ教室(スポーツ吹矢教室、バウンドテニス教室、スナッグゴルフ体験教室、ワンバウンドふらばーるバレーボール体験会等)を開催します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
PR 方法について、HPやチラシの作成等、検討します。							
【令和元年度事業の実績】							
PR 方法について検討を行いました、従来通りの広報等を利用した PR のみとなりました。							
バウンドテニス教室(1教室 参加 40 名 6 回)							
スナッグゴルフ体験教室(1教室 参加 8 名 1 回)							
ワンバウンドふらばーるバレーボール体験会(2 回 参加 80 名)							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○子供から高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ(レクリエーションスポーツ)教室を実施することができました。							
▲新たな種目の選定が難しく、今後は市体育協会、市レクリエーション協会と連携して実施していくことが課題です。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	B
	72,000 円		14,000 円		19.5 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	B
*現在子供から高齢者までを対象に実施しているということだが、子供はスポーツ少年団やクラブ活動で忙しく参加できない。高齢者を対象に実施してはどうか。 →参加は難しいかもしれませんが、門戸は広げておく必要があり、今後もこのまま進めたいと思います。		

教育委員会評価

B

整理No. 3	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課	
教育プラン基本目標	3	誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進			
施 策	2	スポーツの機会の充実と魅力の発信			
主 な 取 組	④	選手育成と各種体育大会への派遣を支援			
事 業 名	各種体育大会開催経費（激励金交付事業）				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> - <u>年度～</u> <u>継続</u> 市民体育大会の開催、東濃体育大会、県民スポーツ大会に参加及び選手派遣に当たり、市体育協会に交付金を交付します。 国体等の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 市民体育大会の開催及び東濃体育大会等への代表選手の派遣に対し、市体育協会へ継続して交付金を交付します。 また、激励金交付事業に対しても、全国大会出場選手等に対する励みとなることから継続して事業を実施します。					
【令和元年度事業の実績】 市民体育大会の開催及び東濃体育大会、県民スポーツ大会への市代表選手の派遣を市体育協会への交付金事業として実施しました。 インターハイ、国体等に参加する選手の他、様々な世界大会、全国大会に出場する選手に激励金を交付しました。 実績：27 大会（高校総体等大会は1激励会1大会として計上） 82 人 12 団体					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○事業予算 428 万円の内、支出は 403 万円となっており、執行率は非常に高くなっています。特に激励金については今年度も様々な大会で、全国大会への出場が多くありました。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	4,285,000 円	4,030,000 円	94.1 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 4	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課			
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興					
施 策	1	まちぐるみで守る文化財とその活用					
主 な 取 組	①	文化財の調査・保存・活用					
事 業 名	文化財調査保存事業						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H17 年度～ 継続							
瑞浪市内に残る文化財の調査を実施してその価値を明らかにするとともに、必要に応じて保存のための措置を講じます。							
令和元年度は大湫神明・白山神社例祭で用いられる山車(1台)の調査・図面作成を行います。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
山車の図面は今後の修理等に係る基礎資料ともなるため、有識者の指導を得て、適切な図面作成に努めます。							
【令和元年度事業の実績】							
有識者の指導を得て山車の調査・図面作成等を完了しました。作成した図面等は令和2年度刊行予定の調査報告書に掲載して、広く一般に公開します。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○山車は元治元年(1864年)に犬山から譲渡されたこと、また明治前期から例祭で用いられるようになったことが明らかとなるなど、例祭の由来や変遷を把握することができました。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	A
	812,000 円		679,760 円		83.8 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
* 報告書刊行の際は、刊行したことを広く周知することが望ましい。 →市の広報に報告書刊行の記事を掲載します。		

教育委員会評価

A

整理No. 5	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	1	まちぐるみで守る文化財とその活用			
主 な 取 組	①	文化財の調査・保存・活用			
事 業 名	埋蔵文化財発掘等調査事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H18 年度～ 継続 遺跡範囲内での開発行為が遺跡に与える影響やその対応を判断するために試掘・確認調査を実施します。また、調査で実施した遺物整理や図面作成等を行います(国庫補助事業・補助率 2 分の 1)。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 過去の調査成果の情報を蓄積し、埋蔵文化財の保護ならびに開発事業への円滑な対応に努めます。					
【令和元年度事業の実績】 遺跡内における開発行為に伴い、試掘調査を 4 件(山野内遺跡、須野志遺跡、名滝遺跡、釜戸陣屋跡)実施しました。また、今後の報告書に掲載するための図面類を作成しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○試掘調査の結果、各開発行為が遺跡に与える影響は軽微であることが確認されました。 ▲国道 19 号バイパスの建設等、開発事業者との調整を有する事案が増加する傾向にあります。県の文化財保護部局とも連携を図り、開発行為に遅延が生じることのないよう、円滑かつ適切な対応に努めます。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	2,697,000 円	2,256,638 円	83.7 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 6	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課																																				
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興																																						
施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実																																						
主な取組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興																																						
事業名	(化石博物館) 定期講座開催経費																																							
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S49 年度～ <u>継続</u> 自然科学への興味・関心を高めるため、化石や地質等をテーマとした講座を開催します。また館蔵資料の学校への貸し出しや出前授業を実施します(講座概要は以下の通り)。 ・みずなみ化石教室(半日コース:定員 30 人、延 11 回;一日コース:定員 30 人、延 8 回) ・みずなみ化石教室上級コース(定員 10 人、延 2 回) ・化石のレプリカを作ろう(定員 10 人、延 2 回) ・化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう(定員 10 組、延 2 回) ・夏の化石教室～化石マイスター養成編～(定員 25 人、延 3 回) ・夏の化石教室～化石マイスター認定編～(定員 20 人、延 1 回) ・恐竜の復元模型を作ろう(入門編)(定員 20 人、1 回) ・恐竜の復元模型を作ろう(応用編)(定員 15 人、1 回) ・コハクの原石を磨こう(定員 25 人、延 4 回) ・洞窟からホ乳類化石を探そう(定員 20 人、延 2 回)																																								
【前年度の評価を踏まえた取組】 講座や出前授業はホームページ、チラシ・ポスターで周知を図るほか、小中学校の理科部会への告知も実施します。また、人気のある講座は実施回数を増やして実施します。																																								
【令和元年度事業の実績】 各講座の実施回数と参加者は下記表のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>回 数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みずなみ化石教室(半日コース)</td> <td>10 回</td> <td>261 人</td> </tr> <tr> <td>みずなみ化石教室(一日コース)</td> <td>7 回</td> <td>219 人</td> </tr> <tr> <td>みずなみ化石教室(上級コース)</td> <td>2 回</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>化石のレプリカを作ろう ※新規</td> <td>2 回</td> <td>14 人</td> </tr> <tr> <td>化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう ※新規</td> <td>2 回</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>夏の化石教室～化石マイスター養成編～</td> <td>3 回</td> <td>68 人</td> </tr> <tr> <td>夏の化石教室～化石マイスター認定編～</td> <td>1 回</td> <td>6 人</td> </tr> <tr> <td>恐竜の復元模型を作ろう(入門編)</td> <td>1 回</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>恐竜の復元模型を作ろう(応用編)</td> <td>1 回</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>コハクの原石を磨こう</td> <td>4 回</td> <td>49 人</td> </tr> <tr> <td>洞窟からホ乳類化石を探そう</td> <td>2 回</td> <td>25 人</td> </tr> </tbody> </table> 参加者合計:697 人【参考 H30 年度:710 人】 資料の貸し出し 2 件(土岐小学校 2 件/H30 年度は 1 件)、 出前授業 5 件(瑞浪小学校、明世小学校、市外 3 件/H30 年度は 3 件)を実施しました。					名 称	回 数	参加者数	みずなみ化石教室(半日コース)	10 回	261 人	みずなみ化石教室(一日コース)	7 回	219 人	みずなみ化石教室(上級コース)	2 回	20 人	化石のレプリカを作ろう ※新規	2 回	14 人	化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう ※新規	2 回	5 人	夏の化石教室～化石マイスター養成編～	3 回	68 人	夏の化石教室～化石マイスター認定編～	1 回	6 人	恐竜の復元模型を作ろう(入門編)	1 回	18 人	恐竜の復元模型を作ろう(応用編)	1 回	12 人	コハクの原石を磨こう	4 回	49 人	洞窟からホ乳類化石を探そう	2 回	25 人
名 称	回 数	参加者数																																						
みずなみ化石教室(半日コース)	10 回	261 人																																						
みずなみ化石教室(一日コース)	7 回	219 人																																						
みずなみ化石教室(上級コース)	2 回	20 人																																						
化石のレプリカを作ろう ※新規	2 回	14 人																																						
化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう ※新規	2 回	5 人																																						
夏の化石教室～化石マイスター養成編～	3 回	68 人																																						
夏の化石教室～化石マイスター認定編～	1 回	6 人																																						
恐竜の復元模型を作ろう(入門編)	1 回	18 人																																						
恐竜の復元模型を作ろう(応用編)	1 回	12 人																																						
コハクの原石を磨こう	4 回	49 人																																						
洞窟からホ乳類化石を探そう	2 回	25 人																																						
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○講座の合計参加者数は H30 年度と概ね同数でした。また広報の成果により、資料の貸し出し、出前授業の要請が増加しました。今後も学校との連携に努める。 ▲近年、他市町村の学校等からの出前事業の要望が増加傾向にあり、その対応方針について検討する必要があります。																																								

決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	1,305,000 円	1,077,615 円	82.6 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*市外の学校への出前授業等については、理科教育推進の観点から実施することが望ましい。 →市外の学校への出前授業等も可能な限り対応します。		

教育委員会評価	A
---------	---

整理No. 7	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実			
主 な 取 組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興			
事 業 名	化石博物館定期展示会開催事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S49年度～ <u>継続</u> 自然科学への興味・関心を高めるため、化石や地質等をテーマとした展示会を開催します。 令和元年度は企画展を1回開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 ホームページで広報を行うとともに、リーフレットをホームページ上で公開します。					
【令和元年度事業の実績】 7月13日～9月29日に企画展「化石になった木とはっぱ」を開催し、期間中入館者は8,300人でした(H30年度は7,613人)。 また、企画展関連講座として、8月24日に講座「ケイカボクを磨こう」を開催し、10名(定員10名)の参加者がありました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○企画展の開始にあわせて、市内から発見された珪化木(寄贈品)について記者発表を行ったところ新聞等で取り上げられ、企画展への関心が高まり、市内の方の入館が目立ちました。 ○企画展関連講座は好評であり、今後も展示会のテーマに合わせたイベントを企画します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	408,000 円	340,977 円	83.6 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 8	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課			
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興					
施 策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実					
主 な 取 組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興					
事 業 名	(市之瀬廣太記念美術館) 定期展示会開催事業						
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H4 年度～ 継続							
郷土にゆかりのある芸術家を紹介する企画展を開催し、瑞浪の地で育まれた美術・芸術への関心を高めます。							
令和元年度は伊村俊見氏(日吉町在住)の陶彫展、ならびに平尾秀明氏(瑞浪市出身)から寄贈された日本画展を実施します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】							
企画展の広報ならびに作品鑑賞の一助とするため、企画展にあわせて対談会を実施します。							
【令和元年度事業の実績】							
10月26日～12月8日に企画展「囊(NU) 伊村俊見の陶」を開催し、705人の入館者がありました(H30年度は692人)。また、対談会には30人の参加者がありました。							
3月20日～7月12日(4月4日～5月10日は臨時休館)に作品寄贈特別展「平尾秀明 日本画展」を開催し、3月中に168人の入館者がありました。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題							
○対談会の実施などにより、入館者は昨年度の企画展を上回りました。今後も企画展にあわせたイベント開催を検討します。							
○特別展の実施により、平尾氏からの寄贈作品を広く一般に広報できました。							
決算の状況	予算額		決算額		執行率	担当課 評価	A
	2,412,000 円		1,742,138 円		72.3 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
特になし		

教育委員会評価

A

整理No. 9	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実			
主 な 取 組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興			
事 業 名	(市之瀬廣太記念美術館) 彫刻講座等開催経費				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H4 年度～ 継続 美術・芸術に触れることのできる講座を開催し、特に館の特色である彫刻や工芸に対する関心を高めます。 令和元年度は土人形づくり講座(土びな・高砂の 2 コース)を開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 瑞浪の伝統的な工芸品・玩具である土人形づくり講座(延べ 3 日間の講座)を開催します。					
【令和元年度事業の実績】 土人形づくり講座を開催し、12 人の参加者がありました(定員 20 人/H30 年度は 18 人参加)。(開催日:土びな:7 月 20 日、8 月 25・31 日、高砂:7 月 21 日、8 月 25・31 日)					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ▲前年に比べ参加者数が若干減少しましたが、受講者からはゆとりをもって作品作りができる適切な受講者数であったとの意見が寄せられました。令和 2 年度以降は募集人数の検討を行います。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	B
	122,000 円	94,999 円	77.9 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	B
--	-----------	---

教育委員会評価

B

整理No. 10	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課																																							
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興																																									
施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実																																									
主な取組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興																																									
事業名	(陶磁資料館) 作陶講座開催経費																																										
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 H19年度～ 継続 地場産業・伝統産業である焼物や郷土の文化財等に触れる機会を提供し、また関心を高めるために体験教室を開催します。 令和元年度は外部講師による作陶体験教室や匠茶会、内部講師による絵付け体験教室等、勾玉づくりのほか、随時受付による絵付け体験教室を開催します。																																											
【前年度の評価を踏まえた取組】 講座はホームページで周知を図るほか、人気の高い絵付け体験教室(随時申し込み制)を年間を通じて開催します。																																											
【令和元年度事業の実績】 各講座の実施回数と参加者は下記のとおりです。なお、随時受け付けの絵付け体験教室は、参加者の興味を増すようにオカリナを加えて実施しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>回 数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶の匠茶会</td> <td>1回</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>マグカップ・ブチオカリナ絵付け(5月)</td> <td>3回</td> <td>182人</td> </tr> <tr> <td>やきもの風鈴絵付け</td> <td>1回</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>勾玉づくり</td> <td>1回</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>マグカップ・ブチオカリナ絵付け(8月)</td> <td>2回</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>来年の干支づくり(子)</td> <td>1回</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ひな人形絵皿づくり</td> <td>2回</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>コースター絵付け(随時受付)</td> <td>62回</td> <td>217人</td> </tr> <tr> <td>ブチオカリナ絵付け(随時受付)</td> <td>37回</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>オカリナ絵付け(随時受付) ※新規</td> <td>27回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>マグカップ絵付け(随時受付)</td> <td>14回</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>風鈴絵付け(随時受付)</td> <td>14回</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table> 受講者合計:771人【参考 30年度:417人】					名 称	回 数	参加者数	陶の匠茶会	1回	23人	マグカップ・ブチオカリナ絵付け(5月)	3回	182人	やきもの風鈴絵付け	1回	3人	勾玉づくり	1回	7人	マグカップ・ブチオカリナ絵付け(8月)	2回	6人	来年の干支づくり(子)	1回	6人	ひな人形絵皿づくり	2回	5人	コースター絵付け(随時受付)	62回	217人	ブチオカリナ絵付け(随時受付)	37回	160人	オカリナ絵付け(随時受付) ※新規	27回	52人	マグカップ絵付け(随時受付)	14回	66人	風鈴絵付け(随時受付)	14回	44人
名 称	回 数	参加者数																																									
陶の匠茶会	1回	23人																																									
マグカップ・ブチオカリナ絵付け(5月)	3回	182人																																									
やきもの風鈴絵付け	1回	3人																																									
勾玉づくり	1回	7人																																									
マグカップ・ブチオカリナ絵付け(8月)	2回	6人																																									
来年の干支づくり(子)	1回	6人																																									
ひな人形絵皿づくり	2回	5人																																									
コースター絵付け(随時受付)	62回	217人																																									
ブチオカリナ絵付け(随時受付)	37回	160人																																									
オカリナ絵付け(随時受付) ※新規	27回	52人																																									
マグカップ絵付け(随時受付)	14回	66人																																									
風鈴絵付け(随時受付)	14回	44人																																									
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○随時受付の絵付け体験教室は、年間を通じて開催したこと、またコースを増やしたことで受講者が大幅に増加しました。 ▲今後も参加者の興味を高めるためにコース内容の増を検討します。																																											
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価																																							
	407,000 円	320,118 円	78.7 %	A																																							

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
*受講者数には目標を設定したうえで評価することが望ましい。 →絵付け体験教室の年間を通じての開催は令和元年度からであったことから目標を設定しませんが、今後は令和元年度の数値を基準に目標設定を行います。		

教育委員会評価

A

整理No. 1 1	事業目標と評価		担当課	スポーツ文化課	
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実			
主な取組	④	博物館等文化施設における生涯学習の振興			
事業名	(陶磁資料館) 定期展示会開催事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H19年度～ 継続 地場産業・伝統産業である焼物や郷土の歴史や文化財等に触れる機会を提供して関心を高めるため、また収蔵資料の活用、研究成果公開等のために展覧会を開催します。 令和元年度は、企画展(企)4回、特別展(特)1回開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせて、美濃源氏・土岐一族に関連する特別展を開催します。					
【令和元年度事業の実績】 企「瑞浪陶芸協会展」4月7日～5月6日(入館者:2,513人) 企「白と黒～灰釉と鉄釉の多様性～」5月25日～7月25日(入館者:599人) 企「戦時下のやきもの～舟橋コレクション～展」7月27日～9月23日(入館者:1,162人) 企「印判手のやきもの～馬杉コレクション～展」10月5日～1月13日(入館者:913人) 特「美濃源氏 土岐一族の時代」3月29日～5月24日(3月中入館者:6人) また、特別展図録「美濃源氏 土岐一族の時代」を270部刊行しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○企画展「戦時下のやきもの」・「印判手のやきもの」は近年の寄贈資料の展覧会であり、寄贈資料を広く公開することができました。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	1,706,000 円	1,615,189 円	94.7 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
---	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 1 2	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	3	文化施設の充実			
主 な 取 組	①	館蔵資料の充実、調査、研究			
事 業 名	定期研究報告発行事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S49 年度～ 継続 化石や地質等をテーマとした研究論文を掲載した「瑞浪市化石博物館研究報告」を刊行し、最新の研究成果などを一般に公開します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 研究成果の早期公開をめざし、電子媒体をホームページで公開するための国際標準逐次刊行物(ISSN)登録を行います。また、研究報告送付先に冊子媒体送付に係るアンケートを実施し、印刷部数の見直しを行います。					
【令和元年度事業の実績】 8 論文を掲載した「瑞浪市化石博物館研究報告第 46 号」を 300 部刊行しました。また、市ホームページを通じて広く成果を公開するとともに、国内外の研究・教育機関(約 280 機関)に送付しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○冊子媒体の印刷部数を見直し、300 部(H30 年度までは 320 部)としました。また、オンライン ISSN の取得により、次年度以降は研究報告の早期公開が可能となる見込みです。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	894,000 円	849,128 円	95.0 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 1 3	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	3	文化施設の充実			
主 な 取 組	①	館蔵資料の充実、調査、研究			
事 業 名	化石資料調査収集事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> S49 年度～ 継続 日本各地の化石資料等を収集して収蔵品の充実に努めるとともに、展示や研究等において活用を図ります。 令和元年度は、北海道苫前郡羽幌町の中生代カニ・貝化石の調査・収集を実施します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 館蔵資料の充実等を図るため、中生代カニ・貝化石の調査・収集を実施します。					
【令和元年度事業の実績】 9 月 3 日～7 日に北海道苫前郡羽幌町にて調査を実施し、中生代のアンモナイト・サメ化石等を計 20 点採集しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○今回の採集品のうち、アンモナイトとサメ化石は企画展等での展示・公開を検討するとともに今後も館蔵資料の充実に努めます。 ▲今回の調査では、主たる目的の一つであったカニ化石を採集することはできませんでしたが、これまでの収集資料や研究共同機関所有の標本によりカニ化石の研究を継続します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	160,000 円	116,860 円	73.1 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 1 4	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	3	文化施設の充実			
主 な 取 組	①	館蔵資料の充実、調査、研究			
事 業 名	(市之瀬廣太記念美術館) 展示作品等購入整理事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> R元年度～R元年度 瑞浪市にゆかりのある作家の作品収集を行って収蔵資料の充実を図るとともに、その整理を実施します(令和元年度新規事業)。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 展示スペースや保存性も考慮して購入する作品を選定します。					
【令和元年度事業の実績】 天野裕夫氏(大湫町在住)の陶彫作品1点(地球象)、伊村俊見氏(日吉町在住)の陶彫作品1点(囊)を購入しました。また、購入作品は美術館等で展示を行いました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○本事業により館蔵資料の充実が図られました。 ▲作品をより多くの方に鑑賞していただけるよう今後は美術館以外の場所での展示も検討します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	600,000 円	598,950 円	99.9 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 15	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施策	3	文化施設の充実			
主な取組	①	館蔵資料の充実、調査、研究			
事業名	(陶磁資料館) 定期刊行物発行経費				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H19年度～ 継続 陶磁器・窯業史等に係る調査・研究成果等を掲載した研究紀要(隔年)ならびに瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集(隔年)を刊行します。また、資料館事業報告・公開のため年報(隔年)を発行します。 令和元年度は研究紀要第18号ならびに年報第36号を刊行します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 冊子(論文)のホームページの掲載については、化石博物館研究報告や他施設の動向を見ながら検討を加えます。					
【令和元年度事業の実績】 3論文を掲載した研究紀要第18号(300部)、ならびに年報第36号(100部)を刊行し、近隣の博物館や図書館等に配布しました。冊子(論文)のホームページの掲載については、画像・資料所有者や提供者の同意も必要となることから、著作権等の問題が生じないよう、さらに検討を加えます。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ▲論文のホームページ掲載に向けて、他施設の取り組みやノウハウ等の情報収集を行います。また、著作権者や資料所有者に対しては、図等の提供依頼段階から詳細かつ丁寧な協議を実施し、円滑に同意を得られるよう努めます。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課 評価	A
	968,000 円	668,420 円	69.1 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
* 予算執行率がやや低いように見受けられる。適切な予算執行に努めて欲しい。 → 執行率がやや低いのは論文執筆者が減少傾向にあり、冊子の頁数も減少したためです。今後は論文執筆について積極的に専門委員に働きかけます。		

教育委員会評価

A

整理No. 1 6	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施 策	3	文化施設の充実			
主 な 取 組	①	館蔵資料の充実、調査、研究			
事 業 名	(陶磁資料館) 展示資料等購入整理事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H19 年度～ 継続 収蔵資料等の効率的な管理、公開のために台帳のデータベース化を図り、市ホームページを通じて収蔵品を紹介します。また、収蔵資料の充実を図るため資料の整理や適切な保存措置を行います。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 データベースの更新を行うとともに、名誉市民でもある陶芸家・加藤孝造氏に係る記録映像のデジタル化を行います。また、市の無形文化財保持者（陶芸家）の作品を購入します。					
【令和元年度事業の実績】 データベースのデータ更新・公開を行うとともに、二次資料として保存・活用するため、国無形文化財保持者加藤孝造氏の記録映像(ビデオテープ)6 本のデジタル化を行いました。また、故伊村彰介氏(瑞浪市無形文化財保持者)の作品 1 点(織部茶入)を購入しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○購入作品は、購入後速やかに館内で展示を行いました。 ▲記録映像は、館内での放映(上映)が可能となるように制作者等との協議を行います。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課	A
	659,000 円	579,411 円	88.0 %	評価	

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応 特になし	点検評価委員会評価	A
--	-----------	---

教育委員会評価

A

整理No. 17	事業目標と評価			担当課	スポーツ文化課
教育プラン基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興			
施策	4	後継者育成、文化芸術活動団体の支援			
主な取組	①	伝統文化の後継者育成			
事業名	文化財維持管理事業				
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> H21年度～ <u>継続</u> 指定等文化財等の適切な管理や保存・修理等を実施または助成します。また、市指定民俗文化財(無形)伝承事業を助成(補助金交付)します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 伝承事業を実施する保存団体の申請に応じて助成を行います。					
【令和元年度事業の実績】 民俗文化財(無形)伝承事業を実施する3団体(美濃歌舞伎保存会、鶴城笹踊り育成会、半原操り人形浄瑠璃保存会)に補助金(各5万円)を交付しました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ▲前年度要望があった保存団体(4団体)のうち、1団体からは申請がありませんでした。今後も要望があった場合には事業助成を実施します。					
決算の状況	予算額	決算額	執行率	担当課	B
	200,000 円	150,000 円	75.0 %	評価	

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	A
* 予算の執行率はやや低いですが、事業目的は達成していると考えため A 評価と判断する。 * 文化財伝承のため、各保存団体には今後も積極的に働きかけを行うことが望ましい。 →今後も保存団体の実情や希望等の把握に努めます。		

教育委員会評価

A

7 教育委員会点検評価委員会のまとめ



令和2年8月19日から9月30日の間で、計3回の点検評価委員会を開催し、令和元年度の教育委員会の事業について、担当課からの説明を受けた後、審査を行いました。

この点検評価は、法律に義務づけられているもので、各担当課の評価について客観性を確保するため学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められており、実際に参加したことのない事業の評価は、点検評価委員としても難しさも感じながらの審査となりました。

委員はそれぞれの立場から質疑や意見を活発に行い、この点検評価報告書をより公正で確かなものにするよう努めました。同時に委員にとっても、これまで知ることのなかった教育委員会の事業について詳しく知るよい機会となりました。

総評として、令和元年度に各課で行われた事業に関しては、前年度実施した点検評価結果を活かし、適切に計画、実施されていたと評価いたしました。

特に元年度は、節目の年であったためか終了する市民参加型の事業がありました。今後、瑞浪市らしく、市民が参加できる新しい形の事業がスタートすることを期待します。

また今回、「A」評価となった事業であっても、更なる事業の充実に努めていただきたいと思います。

人は生涯を通じて、学び続けます。市民がいきいきと学び、心豊かに暮らしていくために、この結果を今後の教育委員会の事業に反映していただくことを期待します。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】

役職名	氏 名(敬称略)	略 歴 等
委 員 長	水 野 昌 代	元瑞浪市教育委員
職務代理者	古 田 勉	元瑞浪市中学校長
委 員	伊 藤 孝 一	瑞浪市社会教育委員
委 員	安 藤 徳 善	瑞浪北中学校評議員
委 員	土 屋 佳津子	瑞浪市PTA連合会母親委員長
委 員	三 戸 憲 和	瑞浪市文化財審議会委員

【点検評価委員会開催状況】

回	開 催 日	会 場
第1回	令和2年8月19日(水)	瑞浪市役所 2階 大会議室
第2回	令和2年8月26日(水)	瑞浪市総合文化センター 2階 展示室
第3回	令和2年9月30日(水)	瑞浪市役所 4階 全員協議会室

8 令和元年度教育費決算について



款 項 目		予算現額(円)	決算額(円)	執行率(%)
10 教 育 費		1, 943, 578, 000	1, 832, 228, 233	94. 3
1 教育総務費	1 教育委員会費	1, 834, 000	1, 741, 250	95. 0
	2 事務局費	160, 005, 000	159, 251, 464	99. 6
	3 教育振興費	83, 905, 000	78, 131, 613	93. 2
	4 教育研究所費	993, 000	845, 794	85. 2
2 小 学 校 費	1 学校管理費	110, 864, 000	102, 346, 157	92. 4
	2 教育振興費	68, 550, 000	63, 862, 117	93. 2
	3 学校建設費	357, 412, 000	311, 904, 749	87. 3
3 中 学 校 費	1 学校管理費	124, 344, 000	118, 791, 442	95. 6
	2 教育振興費	50, 366, 000	46, 680, 404	92. 7
	3 学校建設費	88, 808, 000	75, 577, 522	85. 2
4 幼 稚 園 費	1 幼稚園費	200, 114, 000	195, 124, 026	97. 5
5 社会教育費	1 社会教育総務費	30, 695, 000	30, 360, 528	99. 0
	2 青少年教育費	7, 145, 000	6, 675, 452	93. 5
	3 公民館費	207, 078, 000	202, 361, 823	97. 8
	4 図書館費	67, 624, 000	66, 489, 847	98. 4
	5 文化費	81, 072, 000	79, 688, 191	98. 3
	6 化石博物館費	11, 699, 000	10, 563, 123	90. 3
	7 市之瀬記念美術館費	6, 185, 000	5, 347, 886	86. 5
	8 地球回廊費	5, 166, 000	4, 424, 867	85. 7
	9 陶磁資料館費	10, 751, 000	8, 804, 476	81. 9
6 保健体育費	1 保健体育総務費	33, 647, 000	31, 353, 041	93. 2
	2 体育施設費	11, 098, 000	9, 517, 742	85. 8
	3 市民体育館費	51, 463, 000	49, 818, 468	96. 8
	4 学校給食費	172, 760, 000	172, 566, 251	99. 9

9 「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン(後期計画)」に対する総合評価について



瑞浪市教育委員会は、『第6次瑞浪市総合計画』の個別計画として平成26年3月に『瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン』を策定しました。計画期間の中間年度平成30年度に全体の見直しを行い、平成30年度には『瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画』を策定しています。

今回、『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』に基づき、『後期計画』初年度となる令和元年度に実施した各事業について、5つの基本目標に基づいて点検評価委員会において評価を行いました。

点検評価委員会では、前年度の評価を踏まえた取組方針に基づいて実施された各事業について、取組の成果と課題が示されました。

各取組に関する評価委員会の評価を踏まえると、教育プランの骨組みである5つの基本目標に基づく瑞浪市教育委員会の取組は、前年度の成果や課題を踏まえて実施・展開され、その進行の度合いにおいて「おおむね順調に達している」と考えます。

今後も、各事業の実施状況を踏まえ、『みずなみ教育プラン 後期計画』の基本理念である「夢・生きがい・誇りを育む 瑞浪の教育」の実現に向けた教育の推進に努めます。

瑞浪市教育委員会